

# 遊歩一景

イルミネーション事業  
(伊勢丘学区)



伊勢丘学区では、毎年イルミネーション事業を実施しています。これは、2022年のコロナ禍に、地域の皆さんに「少しでも明るい気持ちでいてもらいたい」という願いから始まりました。

当時は伊勢丘公園に設置し、流れ星や富士山など、趣向を凝らしたデザインを考えました。

企画は防火防災部が担当し、火災予防啓発や発電機の維持管理にも役立てています。

2024年から会場を交流館に移し、毎年300人ほどの来場があります。来場者からは「毎年楽しみにしている」「地域が明るくなった」などの声があります。今後は、こどもたちも作成に参加できる仕組みづくりを進めるなど、地域の一大イベントに発展させていきたいそうです。

日時：2025年12月20日(土)～26日(金)

17時～20時(デザイン：クリスマス)

場所：伊勢丘交流館

※ 20日は点灯式イベントを予定

## 桜坂ギャラリー 企画展

### 児童生徒人権平和作品展

●期間 12月4日(木)

～12月10日(水)

●場所 東部市民センター 2階ロビー

## 東部いれこみ情報

学習情報紙

No.291

12月号

2025年(令和7年)12月1日

発行 東部地域振興課

住所 〒721-0915 福山市伊勢丘6-6-1

電話 940-2574 FAX 947-5658

カラーは 福山市東部地域振興課

ホームページで 検索・二次元コード



TouTube・トーチューブ

### ～大谷台ネコサポマルシェに行ってみた～

大谷台学区は、坂のまち。買い物に困っている人のサポートができれば。と、ヤマト運輸が地域貢献事業として大谷台学区まちづくり推進委員会と連携してマルシェを開催しました。地域の集いの場としても活用していく予定です。どうぞご覧ください。

〈配信〉12月6日(土) 9:00～

●動画サイト YouTube

●チャンネル TouTube.F

●問い合わせ先 東部地域振興課

電話：084-940-2574

FAX：084-947-5658

メール： ↓ ↓ ↓

toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



12月4日(木)から10日(水)は人権週間です。日本では、国連が定めた12月10日の『人権デー』を最終日とする1週間を『人権週間』と定めています。

期間中、市内の児童・生徒が作成した人権・平和・ユニバーサルデザインに関する作品の展示を行います。

ぜひ、ご覧ください。

主催・問い合わせ先 東部地域振興課

電話 084-940-2574

FAX 084-947-5658

## 「伊勢丘ふるさと祭り」を盛りあげる

11月9日に「伊勢丘ふるさと祭り」が開催されました。伊勢丘で暮らす子どもたちが「伊勢丘は素晴らしいふるさと」と思ってくれるようにと願いを込めて実施しています。

ステージ発表、子ども広場、各町内会・団体の露店、フリーマーケット等多彩な内容で、あいにくの雨にもかかわらず多くの方の来場があり、活気にあふれていました。祭りの華は「伊勢丘さくら音頭」「伊勢丘音頭」などの総踊り。雨天のため演目中止となりかけた「伊勢丘音頭」は、小学生たちの「踊りたい!」という声で決行され、「伊勢丘音頭をこれから踊る



「伊勢丘音頭」の様子

ので小学生は集まって!」というアナウンスが流れると、ステージ前は小学生でいっぱい。ステージ上では中学生ボランティアが率先して踊り、おとなの参加や温かい手拍子での応援もあり、会場が一体となりました。そして今年の「伊勢丘さくら音頭」は、花緒秀千代さんの生歌唱で一層盛りあがりました。学区創立40周年を記念して作られた踊りで、故郷の違う人たちを結び「伊勢丘のさくら」をつないでいこうという思いもこめられています。その思いや活動は、確実に次世代に受け継がれていると感じられました。



「伊勢丘さくら音頭」の様子

## 防災学習をクイズにプログラミング

## 蔵王学区

11月23日に、「蔵王学区防災フェスタ2025」が開催されました。これは、昨年度まで行ってきた防災避難訓練をフェスタ方式に変えたもので、会場の蔵王小学校には防災機器や緊急車両の展示、煙体験やとん汁の炊き出しの他、VRゴーグルを付けて南海トラフ地震をバーチャルリアリティーで体験するなどのブースが並びました。

また、クイズ形式で防災について学習するデジタルウォークラリーが行われました。

これは、学区の小中学生がおとなと協力し、夏から作成に取り組んできたものです。防災に関する知識をおとなにアドバイスをしてもらいながら、小中学生がパソコンを使って



(ヒントのパネルを設置している様子)

プログラミングしました。

来場者は、受付で学習シートを受け取るとスマートフォンなどで2次元コードを読み取り会場内に設置したクイズのヒントとなるパネルを訪ね歩いて学習を進めました。

参加した人からは「難しかったが防災の知識が深まった」などの感想がありました。



# 東部管内イベント・講座情報

## 東部地域振興課

### 冬のサロンコンサート

【日時】 12月17日(水) 14時～15時  
13時30分開場

【会場】 東部市民センター 1階サロン

【内容】 クリスマスソングを歌や演奏でお届けします

【演奏者】 SAKA⇄SAMA feat.H ほか

【対象】 どなたでも

【参加費】 無料

【問い合わせ先】

東部地域振興課 084-940-2574

## 春日コミュニティ館

### 離乳食講座★スマッシュケーキづくり★

【日時】 12月3日(水) 10時～11時

【会場】 春日コミュニティ館

【内容】 ・スマッシュケーキ※の実演と試食

・離乳食についてのお話

※ 赤ちゃんが自由に壊しながら食べるケーキ

★メニュー：スマッシュケーキ、トマトスープ

【講師】 吉田 一恵さん

(栄養士・子供心理カウンセラー)

【対象】 乳幼児と保護者

【申し込み】 要申込

【参加費・材料費】 300円

## ふくやま人権大学 2025

【表現コース】「ちがい」を重ねてひとつになる  
～演劇を通じて出会ってみよう～(全3回)

【日時】 ①1月17日(土) 講義とワークショップ

②1月24日(土) グループワーク

③1月25日(日) グループワークと発表

【会場】 西部市民センター

【定員】 20名

【時間】 3回とも 13時～17時

【講師】 (一社) 舞台芸術制作室無色透明

【問い合わせ先・申し込み】 多様性社会推進課

084-928-1006



▶【表現コース】申込フォーム

### 「春日サロン」手作りで楽しむアレンジおせち

【日時】 12月19日(金) 9時30分～12時

【会場】 春日コミュニティ館

【内容】 簡単で美味しいおせち料理の作り方

【講師】 蔵本 博美さん(地域活動栄養士)

【対象】 どなたでも

【申し込み】 要申込

【定員】 10名

【参加費・材料費】 700円

【持参物】 エプロン、布巾、三角巾、マスク、米0.5合

【問い合わせ先・申し込み】

春日コミュニティ館 084-943-2531

## 東部図書館からのお知らせ

展示 「安心のボタンをつないで  
～ 福山通水 100年～」

【日時】 12月17日(水)～1月23日(金)

【場所】 東部図書館 1階フロア

【内容】 福山市の水道の歴史や安全への取組などについてのパネル展示

【問い合わせ先・申し込み】

東部図書館 084-940-2575

## サロンコンサート

【日時】 12月9日(火) 14時～14時30分

【場所】 東部市民センター 1階サロン

【内容】 ミュージックベルの演奏

【出演】 おんぷくらぶ

## ふゆのおはなし会

【日時】 12月21日(日) 11時～11時45分

【場所】 東部図書館 2階集会室

【内容】 大型絵本『クリスマスのかくれんぼ』  
パネルシアターなど

# 特集「インターネットと人権」について考える その8

## ネットの危険から子どもを守るために

自分のスマートフォンを持つこどもの割合は年々増加しています。(小学生 70.4%、中学生 93.0%、高校生 99.3%：こども家庭庁 令和5年度 実態調査)

インターネット上の世界には、こどもたちにとって役立つ情報がたくさんある一方で、暴力的な表現やアダルト画像といった悪影響を及ぼす不適切な情報が数多く存在します。また、メールやインターネット掲示板、SNS などのコミュニティサイトについても、利用方法を誤ると、自分が気付かないうちに、見知らぬ人に個人情報を知られてしまったり、巧みな言葉で誘惑され、犯罪に加担してしまうなど、様々なトラブル等が生じる危険があります。

## 家庭でのルールづくりとコミュニケーション

こどもがスマートフォン等で上手にインターネットを活用できるようにするために、家庭のルールを作りましょう。ルールづくりは保護者の一方的な押し付けではなく、こどもと一緒に、利用目的や利用場所・時間帯を話し合っ

てルールを決めることが大切です。それから、インターネットやSNS などを利用するときのルールやマナーを守る習慣を身に付けさせましょう。

万が一、トラブルが生じたときには、こどもが一人で抱え込まず、すぐに保護者に相談するよう、普段からこどもと話しておきましょう。

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201303/3.html>

政府広報オンライン「ネットの危険から子どもを守るために保護者が知っておきたいこと」を加工して作成

### 第42回 野々浜学区

### ふれあい文化祭



「第42回 野々浜学区ふれあい文化祭」が10月19日、野々浜小学校で開催され、約600人の参加者でにぎわいました。

会場では、交流館生涯学習サークルの展示、各サークルの演芸発表があり、屋外に出ると地域のボランティアによる飲食等の模擬店、また体験型のブースもあり、こどもからおとなまでが楽しみながら地域のことが学べる文化祭でした。

ステージ発表では、福山空襲から80年の節目となり、曾我部 光さんが「知られざるふくやま海軍航空隊」のテーマで、大門の練習場からは特攻隊の任務のため、9人の若者が飛び立ったことなど話されました。自治会活動の紹介では、高丸自治会の「高丸50周年の振り返り」、松井自治会からは、ふれあい夜店や松井公園のプールの取り組み、坂里自治会の「コミュニティパークの取り組みとローズクラブの活動報告」が発表されました。



### 東部市民大学祭

#### ●内容

展示  
ステージ発表

#### ●日時

12月13日(土)  
10:00~15:30  
12月14日(日)  
10:00~15:00

#### ●会場

東部市民センター

#### ●主/問

東部市民大学  
☎084-948-4570

11月16日に開催された高専ロボコン全国大会のことを紹介したいと思います。

高専ロボコンとは、アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテストの略称で、若い人たちに既成概念にとらわれず、自らの頭で考え、自らの手でロボットを作る「この面白さを体験してもらい、発想する事の大切さ、物作りの素晴らしさを共有してもらおう全国規模の教育イベントです。

今年の競技「Great High Gate」のルールを簡単に説明すると、制限時間内に

①箱を積み重ねて高いゲートを作る(10につき10点、相手より高いゲートを作ると50点追加)

②人が乗った台車をロボットが引っ張って、作ったゲートを通過する(1周につき5点)

③3つある三角コーンをエリア外に移動させる(1につき5点)

④②③の合計点の高いチームが勝利となるのですが、ほぼ全てのチームが、それだけ高いゲートを時間内に建てるか」を考えてロボットを製作し、競技に挑む中、1チームだけがゲートの周回に注力していました。

結果は、その周回に徹したチームが優勝したのですが、これはルールの穴をついたものではありません。誰もが高得点の期待できる「高さ」に注目する中、小さくても周回で点を重ねることに活路を見出したアイデアなのです。もちろん、安定して速く周回するためには高い技術力が必要です。

大会の様子は、YouTube(12月14日(日))にテレビ放送(NHK総合・14時)がありますので、興味を持たれた方はご覧ください。

桜のさくらやき

